

ユピテル工業株式会社 YUPITERU

取扱説明書

このたびは、ユピテルの特定小電力トランシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施工規則第六条「特定小電力無線局」に該当するトランシーバーです。

⚠ 注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

FM/AMラジオ付き
特定小電力トランシーバー

CT-55RI



目次

■はじめに			
安全上のご注意	4	・交信モードを切り換えるには	20
使用上のご注意	9	通常の交信	21
各部の名称とはたらき	10	・送信するには	21
・本体	10	・受信するには	22
・ディスプレイ	12	チームモードを使った交信	23
・ベルトクリップの取り付けかた	13	・チームモードにするには	23
電源について	14	・送信するには	25
・電池で使う	14	・受信するには	25
・別売の外部電源で使う	15	オートコールモードを使った交信	26
・別売のリモコンスピーカーマイクで使う	16	・オートコールモードにするには	26
■基本的な操作		・交信するには	27
運用の準備	17	グループモードを使った交信	28
・アンテナを立てる	17	・グループモードにするには	28
・電源を入れる	17	・グループNo.を設定するには	30
・音量を調節する	18	・送信するには	31
・動作モードを選ぶ	18	・受信するには	31
いろいろな機能の設定や解除	19	エリアモードを使った交信	32
・ファンクション状態	19	・エリアモードにするには	32
■交信のしかた		・送信するには	34
交信の準備	20	・受信するには	34
		その他の交信機能	35
		・DXモードについて	35
		・スキャン機能について	35
		・ロングセーブモードについて	36
		・呼出音について	37
		・交信距離について	37
		■ラジオの聞きかた	
		FMラジオの聞きかた	38
		・FMラジオやTV音声を聞くには	38
		・よく聞く周波数をメモリーするには	39
		・メモリーした周波数を呼び出すには	39
		・TV音声以外を連続受信するには	40
		AMラジオの聞きかた	41
		・AMラジオを聞くには	41
		・よく聞く周波数をメモリーするには	42
		・メモリーした周波数を呼び出すには	43
		■ラジオを聞きながら、トランシーバー	
		受信を待ち受ける	
		・交信の準備をするには	44
		・受信するには	45
		・送信するには	46
		■インターホンの使いかた	
		・インターホンモードにするには	47
		・インターホンNo.を設定するには	48
		・フィールドを切り換えるには	50
		・特定の相手を呼び出して交信するには	52
		・全員を一斉に呼び出して交信するには	53
		■便利な機能	
		・バッテリー電圧を表示させるには	54
		・送信終了音を鳴らすには	54
		・ディスプレイの照明(自動点灯)を消すには	55
		・APO(オートパワーオフ)機能について	55
		・キーロック機能について	56
		・確認音を消すには	56
		・リセット機能について	57
		■その他	
		アフターサービスについて	58
		故障かな?と思ったら	59
		仕様	60
		オプションについて	61

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

■ 絵表示について

-   記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
-   記号は禁止の行為であることを告げるものです。
-   記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

-  **安全のため、自動車を運転中には使用しない**
わき見運転は、重大事故の原因となります。
-  **表示された電源電圧以外では使用しない**
火災や感電、故障の原因となります。
-  **穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない**
中に入った場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

警告

-  **万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する**
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら使用を中止する**
落雷の恐れがあります。
-  **サービスマン以外の方は、絶対に分解したり、改造したり、修理しない**
火災や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。また、本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
-  **煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**
発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。
-  **旅客用飛行機の中では使用しない**
飛行機の計器に異常を与える可能性があります。絶対におやめください。
-  **医用電気機器の近くでは使用しない**
植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。医用電気機器の近くでは電源を切り、絶対に使用しないでください。

警告

別売のACアダプター使用时



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない
感電やショートによる発火の原因となります。



電源に接続する場合に分岐やタコ足配線をしない
異常過熱や発火、故障の原因となります。



風呂などで使用しない。また、ぬれた手で電源を抜き差ししない
感電の原因となります。



ACアダプターの差し込みは確実に
行う
接触不良を起こして、火災の原因となります。



ACアダプターの差し込み部分のホコリはよくふく
接触不良を起こして、火災の原因となります。



ACアダプターは指定のもの以外は
使用しない
火災や感電、故障の原因となります。

注意



直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない
火災や故障の原因となります。



指定以外の電池は使用しない。また、古い電池を混ぜて使用しない
破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。



電池を入れるときは、極性に注意し、指示通りに入れる
間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。



使用済みの電池を火中に投げ入れない
爆発して火災や火傷の原因となります。



長期間ご使用にならないときは、中の電池を抜く
液漏れにより、周囲を汚損する原因となります。



イヤホンやヘッドセットで使用するときには、音量に注意する
突然の音で耳を痛める恐れがあります。

⚠ 注意

別売のACアダプター使用時

 **電源コードを熱機具に近づけない**
コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。



お手入れの際は、ACアダプターを外す
感電の原因となります。

 **電源を抜くときは、電源コードを引っ張らない**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。



長時間ご使用にならないときは、ACアダプターを外す
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因となります。

 **移動させるときは、ACアダプターを外す**
コードに傷がつき、火災や感電の原因となります。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本体裏面の技術基準適合証明ラベルや、定格ラベルをはがして使用することは、電波法で禁止されています。
- 本機は、レジャー用途を目的としたトランシーバーであり、業務用等過酷な使用条件に耐える特別な構造を施したものではありません。
- アンテナは無理に折り曲げないでください。
- 持ち歩くときは、落下などの衝撃を与えないでください。
- 本機は防滴仕様（JIS 防滴 II 形）です。水の中などには入れないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなどの静電気の起こりやすいものや、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

使用上の制限

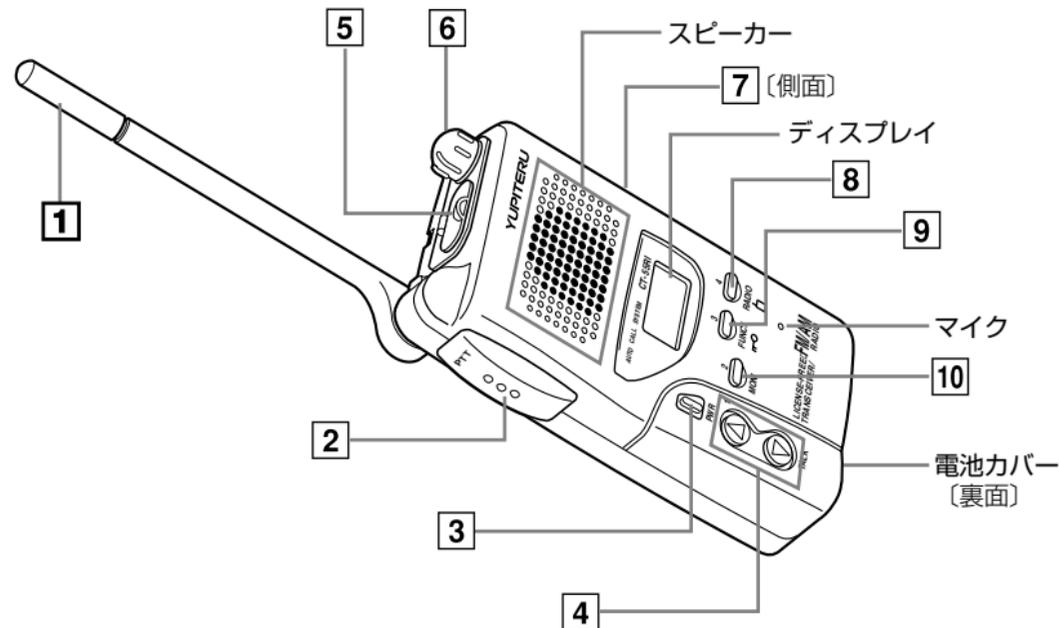
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

交信について

- 特定小電力トランシーバーでは、公共性を保つため、交信時間が制限されています。
- 連続交信時間は、「電波法」に定められている3分以内です。連続交信時間を超えると、自動的に交信が停止し、2秒以上経過しないと再交信できません。
- 連続交信できる残り時間が10秒以下になったときは、“ピピッ”と鳴ります。
- 混信(二重送信)を防ぐため、一定以上の強さの電波を受信しているチャンネルでは、送信できません。
- 交信できない場合は、“ピピッ”と鳴ります。

各部の名称とはたらき

本 体



1 アンテナ

交信するときは、必ず立ててください。
180°回転します。(このアンテナは、AMラ
ジオには使用しません)

2 PTTボタン

押ししている間、送信します。

3 PWRボタン(電源)

約1秒押すと電源が入ります。電源を切るとき
は、もう1度、約1秒間押ししてください。また
押して放すと、バッテリー電圧を表示します。

4 ▲▼ボタン

チャンネルや周波数の切り換えができます。2
秒以上押し続けると、スキャン機能になりま
す。

5 MIC/SP端子(マイク/スピーカー)

オプションのイヤホンマイクなどを接続する端
子です。オプション接続時のPTTボタン操作は
オプション側になります。

6 VOLツマミ(音量調節)

音量を調節できます。

7 DC 6Vジャック(外部電源)

別売のACアダプター(A-6001)を接続して使
用できます。

8 RADIO/トランシーバーボタン

FMラジオ、AMラジオ、トランシーバーの機
能を切り換えます。

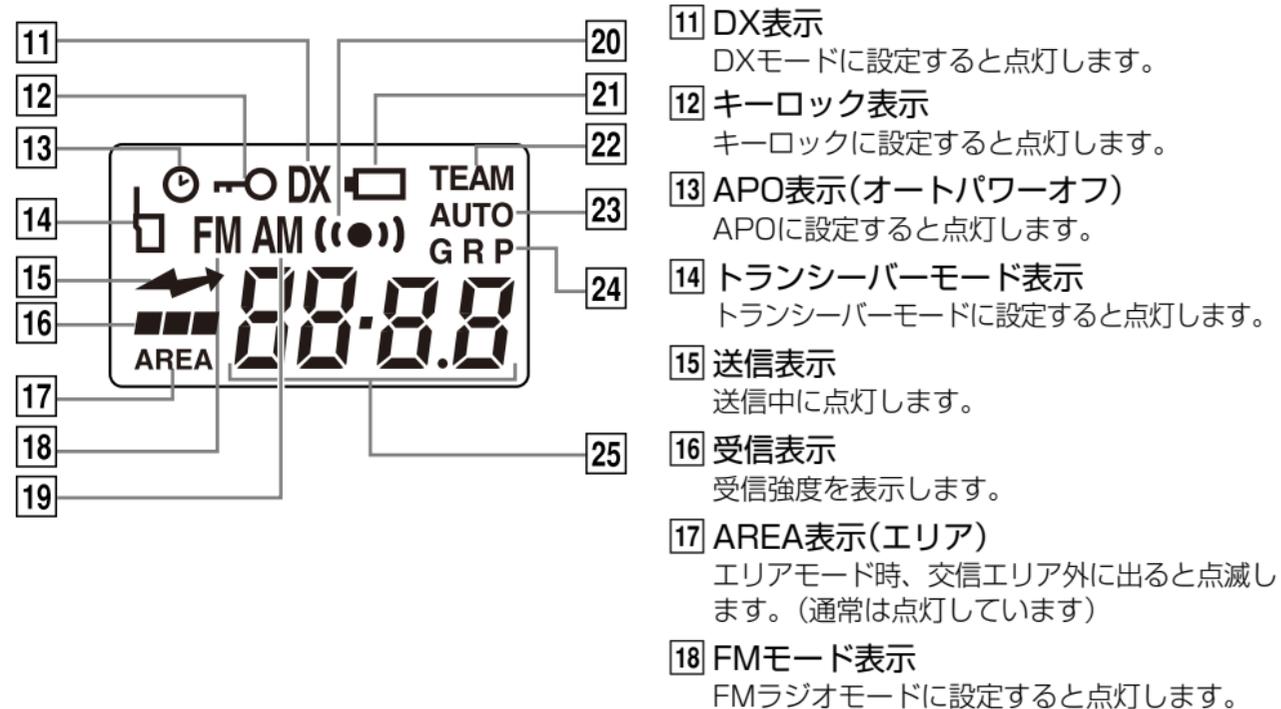
9 FUNC/ロックボタン

押し放すとファンクション状態になり、2秒
以上押し続けるとキーロックの設定/解除がで
きます。

10 MONIボタン(モニター)

相手からの電波が弱く、音が途切れるときに押
します。元に戻すときは、もう1度押ししてくだ
さい。

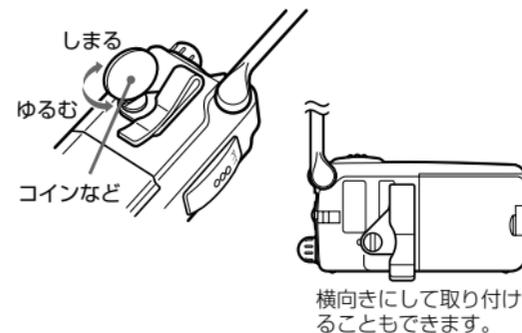
ディスプレイ…チャンネルや機能の状態を表示します。



- 11 DX表示
DXモードに設定すると点灯します。
- 12 キーロック表示
キーロックに設定すると点灯します。
- 13 APO表示(オートパワーオフ)
APOに設定すると点灯します。
- 14 トランシーバーモード表示
トランシーバーモードに設定すると点灯します。
- 15 送信表示
送信中に点灯します。
- 16 受信表示
受信強度を表示します。
- 17 AREA表示(エリア)
エリアモード時、交信エリア外に出ると点滅します。(通常は点灯しています)
- 18 FMモード表示
FMラジオモードに設定すると点灯します。
- 19 AMモード表示
AMラジオモードに設定すると点灯します。
- 20 インターホンモード表示
インターホンモードに設定すると点灯します。
- 21 ローバッテリー表示
電池の寿命が近づくと点滅します。
- 22 TEAM表示(チーム)
チームモードに設定すると点灯します。
- 23 AUTO表示(オートコール)
オートコールモードに設定すると点灯します。
- 24 GRP表示(グループ)
グループモードやエリアモードに設定すると点灯します。
- 25 チャンネル、周波数、各種の動作表示
選択しているチャンネルや周波数、各種動作を表示します。

ベルトクリップの取り付けかた

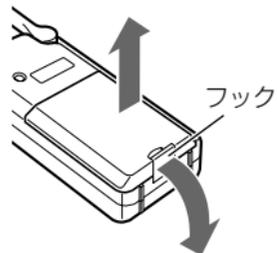
ベルトクリップ取付ネジで取り付けます。(脱落を防ぐため、多少ネジが硬くなっています)



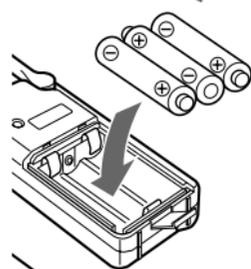
工事用ドライバーなどで強く締め付けると、ベルトクリップに無理な力が加わり、ネジが破損してベルトクリップが使えなくなる恐れがあります。

電池で使う 市販の単3形乾電池をお買い求めください。

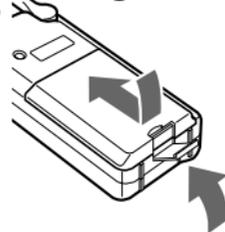
1 電池カバーのフック
をはずして、電池カ
バーを開ける



2 ⊕と⊖を間違えない
ように電池を入れる



3 電池カバーを閉め
て、フックを留める



- 電池を交換するときには、必ず電源を切ってから取り換えてください。
- 別売のニッカド電池BP-36を使用することもできます。
- ニッカド電池の充電には別売の単3形ニッカド充電器BP-400が便利です。

電池の交換

使用中にローバッテリー表示()が点滅したら、3本とも新しい電池に交換してください。

電池寿命の目安(アルカリ乾電池使用時) トランシーバー

- 一般使用時…約68時間(送信30秒間、受信30秒間、待ち受け4分間を繰り返した場合)
- 待ち受け時…約105時間

ラジオ

- FMラジオ連続使用時…約16時間
- AMラジオ連続使用時…約17時間

電池寿命は、使用する条件によって、異なります。特に寒冷地では、電池寿命が短くなります。
※ロングセーブモードを設定すれば電池寿命はさらに長くなります(36ページ参照)

注意

- 指定以外の電池を使用したり、古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、中の電池を抜いてください。

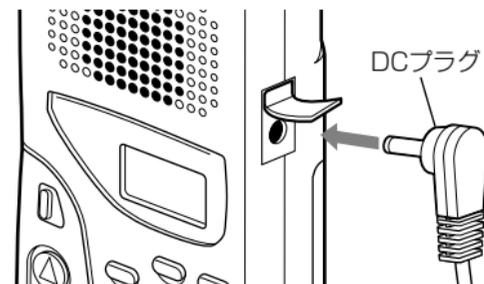
別売の外部電源で使う

本機は、別売のACアダプター(A-6001)を接続して、外部電源(家庭用電源)で使用できます。

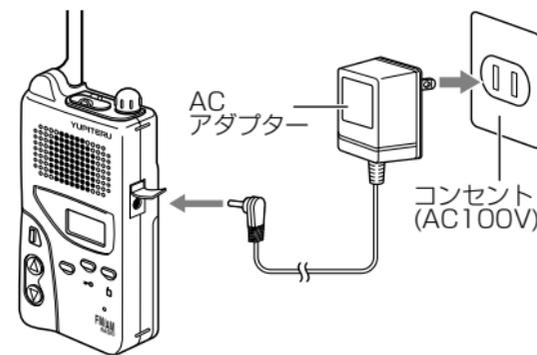
※A-6001以外のACアダプターは使用しないでください。

1 DC6VジャックにACアダプターの
DCプラグを接続する

ACアダプターを接続するときは、必ず電源を切った状態で行ってください。

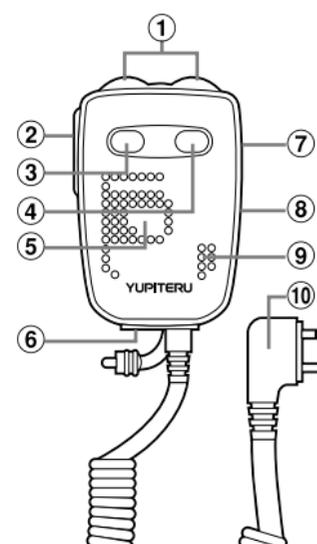


2 ACアダプターを、家庭電源コンセント
(AC100V)に接続する



別売のリモコンスピーカーマイクで使う

別売のリモコンスピーカーマイク(PM-511)を使えば本体をポケットに入れたままでも、送信、受信はもちろん、チャンネルの切り換えやモニターなどが、お手元で操作できます。



①▲▼ボタン

チャンネルの番号(1~9ch)や周波数(ラジオ受信時)が選べます。また、2秒以上押し続けたときは、スキャン機能がはたらきます。

②PTTボタン

送信と受信を切り換えるスイッチです。送信するときは、このスイッチを押しながら、マイクに向かってお話しください。

※ リモコンスピーカーマイクを接続すると、PTTボタンはリモコンスピーカーマイク側のみの操作となります。

③MONIボタン(モニター)

相手の電波が弱く途切れるときに押します。

④CALLボタン(コール)

押すと呼出音が送信されます。

⑤スピーカー

⑥イヤホンジャック

イヤホンなどの外部スピーカーを接続します。接続するとスピーカーから音はでません。

⑦クリップ(背面)

エリやポケットなどに取り付けるとき使用します。

⑧LOCKスイッチ(ロック)(背面)

スイッチを上になると▲▼ボタンがロックされます。

※ 本スイッチでトランシーバー本体のボタン類をロックすることはできません。またディスプレイに「o」は表示されません。

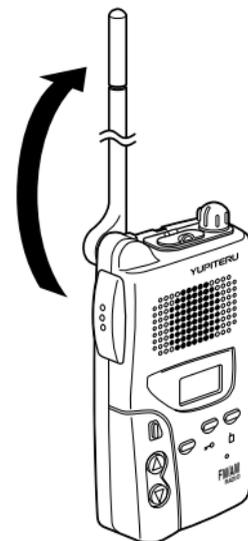
⑨マイク

⑩スピーカー/マイクプラグ

本体のMIC/SP端子に接続します。

基本的な操作

アンテナを立てる

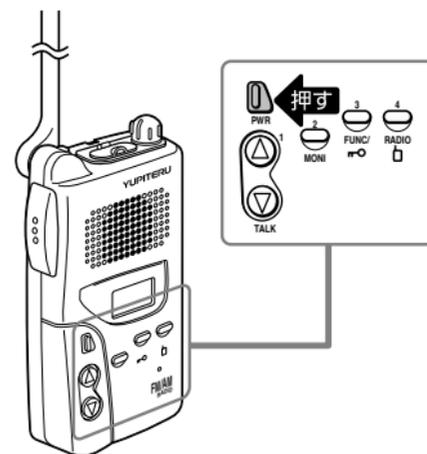


交信するときやインターホンを使うときは、必ずアンテナを立てた状態にしてください。(AMラジオ受信時や外部FMアンテナ接続時には、このアンテナは使用しません)

運用の準備

電源を入れる

PWR(電源)ボタンを押し続ける(約1秒間)と電源が入ります。

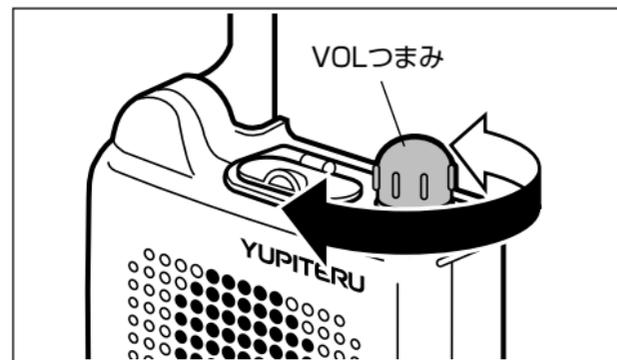


電源を切るときは、もう1度、約1秒間PWR(電源)ボタンを押し続けてください。

次ページに続く 17

音量を調節する

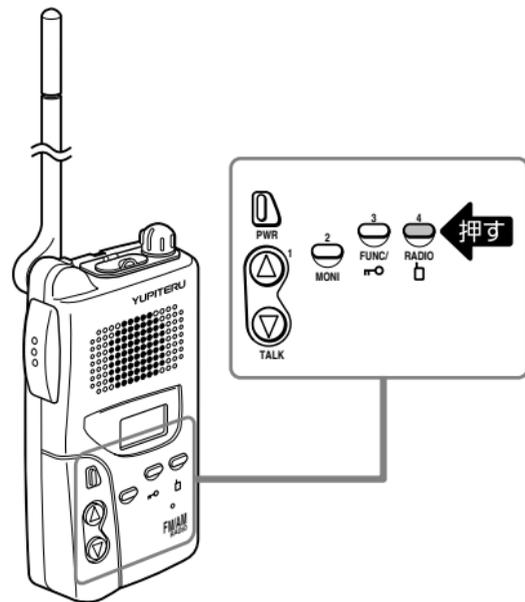
VOLツマミを右に回すと音量が大きくなります。中間の位置にしてください。



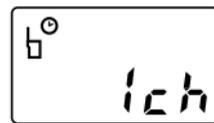
受信音が聞こえない場合には、MONIボタンを押し“ザー”という音が出るようにしてから音量を調節してください。音量の調節が終わったら、もう1度MONIボタンを押しモニター機能を解除してください。

動作モードを選ぶ

RADIO/📻ボタンを押すたびに、次のように動作モードが切り換わります。



トランシーバーモード



FMラジオモード



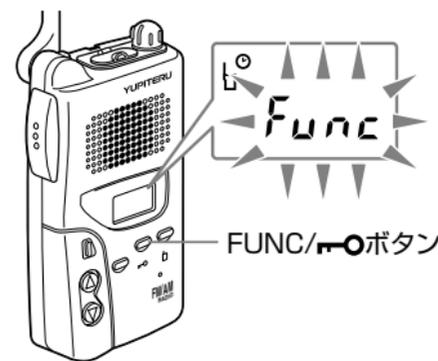
AMラジオモード



チャンネル表示部にチャンネルまたは周波数が表示されます。

ファンクション状態

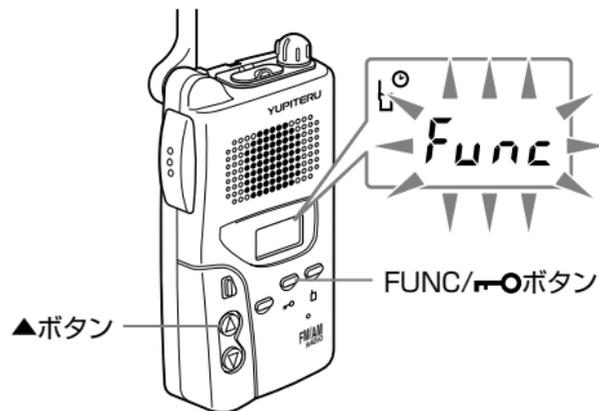
本機のFUNC/📻ボタンを押して放すと、Funcが点滅して約3秒間のファンクション状態になります。交信モードの切り換え、またはいろいろな機能の設定や解除は、このファンクション状態(Func点滅中)から続けて操作します。



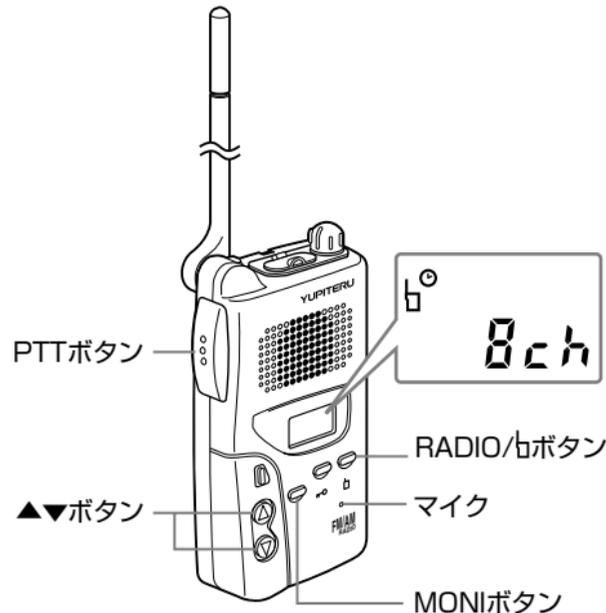
※3秒以内に次の操作をしないと、ファンクション状態は解除されます。
 ※FUNC/📻ボタンを2秒以上押し続けると、キーロックされます。(56ページ参照)

交信モードを切り換えるには…本機は、通常の交信の他に、本機で交信する仲間だけで使える4つの便利な交信モードがあります。

ファンクション状態から▲ボタンを押す動作の手順を繰り返すと、次のように交信モードが切り換わります。



使用するチャンネルをあらかじめ交信する相手と決めておきます。また他の9チャンネル特定小電力トランシーバーとも交信できます。



送信するには

1 RADIO/bボタンを押して、b表示を点灯させる

2 ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(1~9)に合わせる

- 選んだチャンネルが表示されます。
- ▲または▼ボタンを2秒以上押し続けると、スキャン機能がはたらきます。(35ページ参照)
- 再度▲または▼ボタンを2秒以上押し続ける、またはPTTボタンを押すと、スキャン機能は解除されます。

3 PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

- PTTボタンを押している間は送信状態となり、送信表示(🔊)を点灯します。

次ページに続く ➡

受信するには

4 PTTボタンから指を放して待つ

- 相手から送信があると、受信表示(■)が点灯し声が聞こえます。音量を調節してください。
 - 相手の声が途切れるときは、MONIボタンを押してください。聞き取りやすくなる場合があります。(モニター機能)
元に戻すときは、もう1度MONIボタンを押します。
- ※通常はモニター機能を解除して使います。

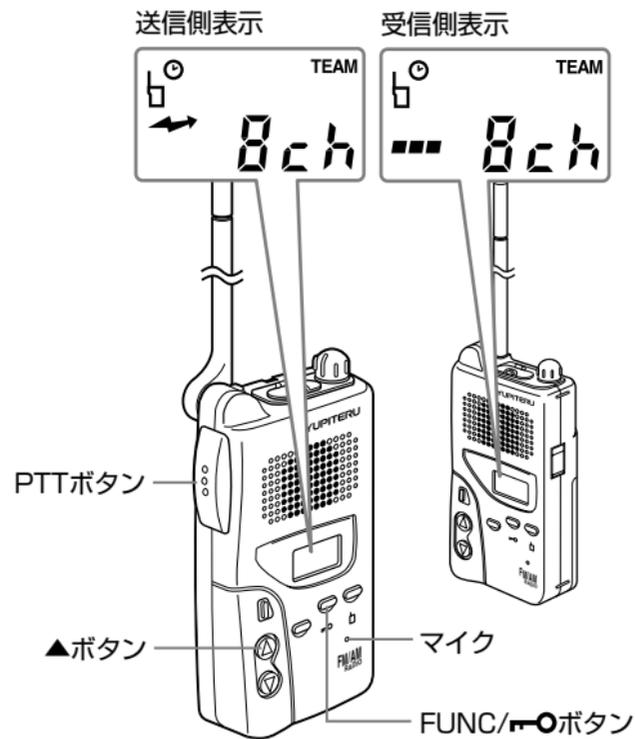
チームモードを使った交信…交信する全員が、同じ設定にしてください。

本機どうしの交信では、チームモードにすると、同じチームモードにしている相手の声だけを受信することができます。



チームモードにするには

- 1 RADIO/□ボタンを押して、□表示を点灯させる
- 2 ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(1～9)に合わせる

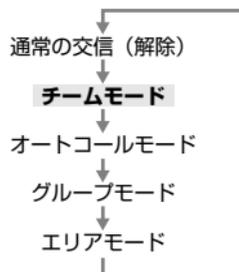


チームモードにするには (つづき)

- 3 FUNC/□ボタンを押してファンクション状態にする
・Funcが点滅します。
- 4 Func点滅中に▲ボタンを押して、TEAM表示を点灯させる



- ・チームモードになります。
- ・手順3、4を繰り返すと、次のように交信モードが切り換わります。(20ページ参照)



送信するには

- 5 PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

- ・最初に送信するときは、呼出音が約1.5秒間鳴ります。呼出音が鳴り終わったら、話しはじめてください。

※呼出音が鳴っている間は交信できません。

※8秒以上交信がなかった場合は、次の交信のはじめに呼出音が鳴ります。

受信するには

- 6 PTTボタンから指を放して待つ

- ・相手から送信があると、声が聞こえます。音量を調節してください。

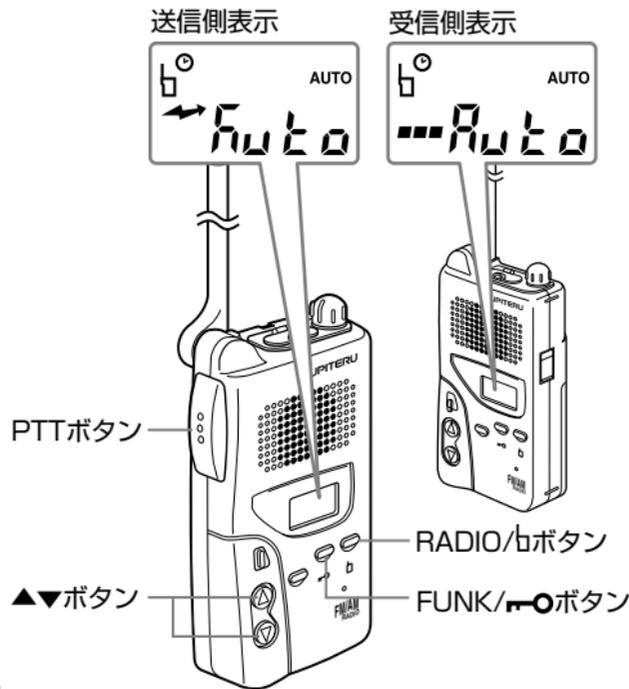
※交信内容は、同じチャンネルを使用している他のトランシーバーでも受信できます。

チームモードの交信終了後には

交信終了後、約8秒間は、通常と同じような交信となるため、他の同じチャンネルの音が聞こえることがありますが、その交信が終わって8秒後には、聞こえなくなります。

オートコールモードを使った交信…交信する全員が、同じ設定にしてください。

本機どうしの交信では、オートコールモードにすると、同じオートコールモードに設定している相手との間で、自動的に使用できるチャンネル(空きチャンネル)を選択します。(あらかじめチャンネルを指定する必要はありません)



オートコールモードにするには

1 RADIO/bボタンを押して、b表示を点灯させる

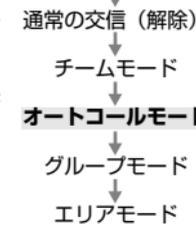
2 FUNC/↵ボタンを押してファンクション状態にする

•Funcが点滅します。

3 Func点滅中に▲ボタンを押して、AUTO表示を点灯させる



- オートコールモードの待ち受け状態になります。
- チャンネル表示部には、Autoが表示されます。
- 手順2、3を繰り返すと、次のように交信モードが切り換わります。(20ページ参照)



交信するには

4 PTTボタンを押す

- 相手に呼出音を約5秒間送信(呼出音が聞こえます)し、空きチャンネルを探し出して、選択したチャンネルで待ち受け(交信できる)状態となります。

※空きチャンネルを探し出した後、オートコールモードは自動的に解除されます。

- 交信は通常と同じです。PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

※呼出音が鳴っている間は交信できません。

※空きチャンネルがないときは“ピピピ”と鳴り、オートコールモードの待ち受け状態のままとなります。

グループモードを使った交信...交信する全員が設定してください。

本機どうしの交信では、グループモードにすると、チャンネルとグループNo.が一致する相手の声だけを受信することができます。



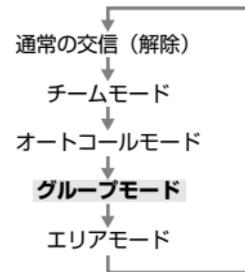
グループモードにするには

- 1 RADIO/bボタンを押して、b表示を点灯させる
- 2 ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(1~9)に合わせる
- 3 FUNC/GRPボタンを押してファンクション状態にする
 - Funcが点滅します。

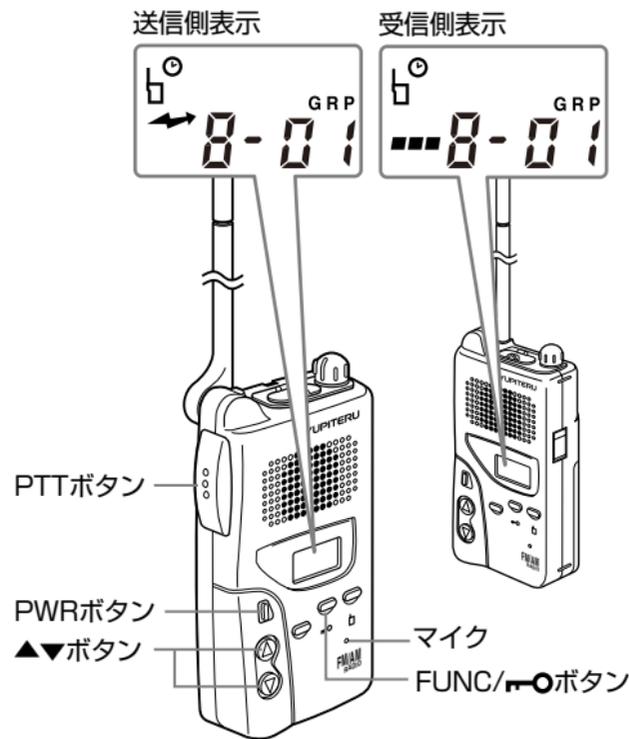
- 4 Func点滅中に▲ボタンを押して、GRP表示を点灯させる



- グループモードになります。
- チャンネル表示部には、チャンネルと2桁のグループNo.を表示します。
- 手順3、4を繰り返すと、次のように交信モードが切り換わります。(20ページ参照)



グループモードを使った交信…交信する全員が設定してください。



グループNo.を設定するには

5 グループモードの状態、PWRボタンを約1秒間押し続けて電源を切る

6 ▲ボタンを押しながら、PWRボタンを約1秒間押し続けて電源を入れる



- グループNo.設定モードになります。
- チャンネル表示部にグループの頭文字「G」と2桁のグループNo.が点滅します。

※10秒以内に次の操作をしないと、グループNo.設定モードは解除されます。

送信するには

7 表示が点滅中に、▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じグループNo.に合わせる

- 00～99まで100通りのグループNo.から選択することができます。
- 選んだグループNo.が点滅します。
- ▲または▼ボタンを1秒以上押し続けると、グループNo.の早送りができます。

8 FUNC/↻ボタンを押す

- グループNo.が点灯に変わり、約1秒後にはグループモードの表示に戻ります。

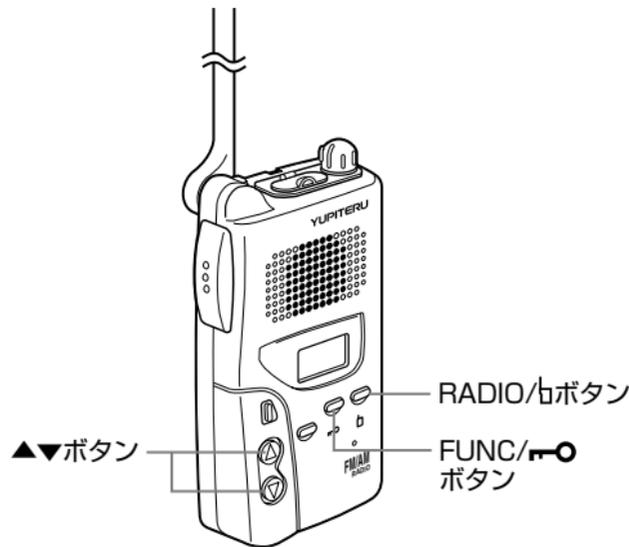
9 PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す

受信するには

10 PTTボタンから指を放して待つ

エリアモードを使った交信...交信する全員が、同じ設定にしてください。

本機どうしの交信では、グループモード時にエリア設定すると、同じエリアモードに設定している相手が交信可能な距離(エリア)にいるかを、たえず把握することができます。



エリアモードにするには

- 1** RADIO/bボタンを押して、b表示を点灯させる
- 2** ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(1~9)に合わせる
- 3** FUNC/roボタンを押してファンクション状態にする
 - Funcが点滅します。

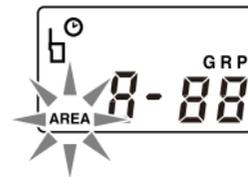
- 4** Func点滅中に▲ボタンを押して、AREA表示を点灯させる



- チャンネル表示部にAr ERを表示してエリアモードになり、約1秒後にチャンネルと2桁のグループNo.が表示されます。
- 手順3、4を繰り返すと、次のように交信モードが切り換わります。(20ページ参照)

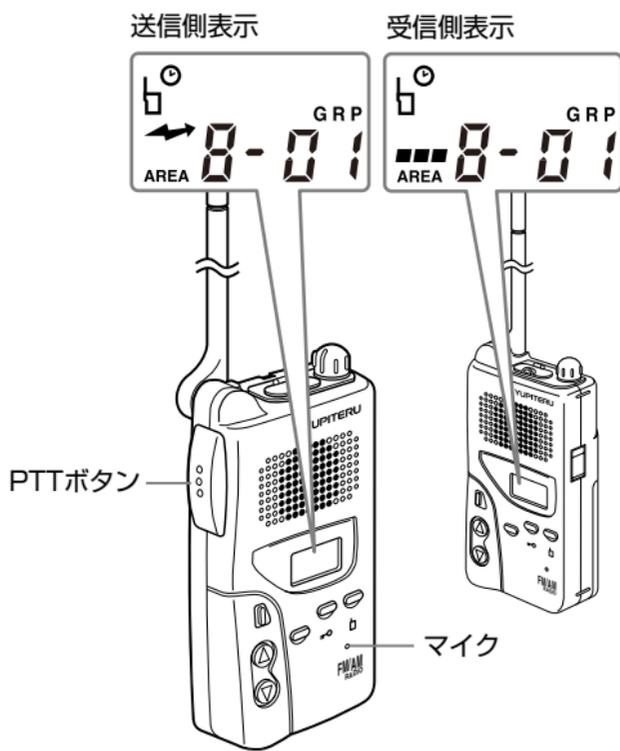
通常の交信(解除)
↓
チームモード
↓
オートコールモード
↓
グループモード
↓
エリアモード

エリア表示の見方



- AREA表示が点灯しているときは、相手は交信できる場所にいます。
- AREA表示が点滅しているときは、相手は交信できない場所にいます。

※エリアモードに設定した直後の10秒間は、(最初に相手の位置を認識するまで)相手がエリア内にも点滅する場合があります。



送信するには

5 AREA表示が点灯していることを確認して、PTTボタンを押しながらマイクに向かって話す

※AREA表示が点滅しているときは、相手との距離が遠すぎるか、障害物のために交信できない状態です。AREA表示が点灯する場所に移動して、呼び出してください。

受信するには

6 PTTボタンから指を放して待つ

※AREA表示が点滅しているときは、相手との距離が遠すぎるか、障害物のために交信できない状態です。AREA表示が点灯する場所に移動して、待ち受けてください。

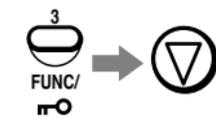
その他の交信機能

DXモードについて

受信感度を上げることができます。

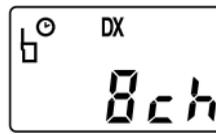
1. ファンクション状態にする

・Funcが点滅します。



2. Funcが点滅している間に、▼ボタンを押す

・“ピッ”と鳴り、DX表示が点灯して受信感度が上がります。



※受信感度を戻すときは、もう1度ファンクション状態で▼ボタンを押します。

※DXに設定して雑音(ノイズ)などが増えた場合は、解除してください。

DXモードは、他の電波の影響が少ない場所での交信に最適です。市街地など他の電波の影響を受けやすい場所では、DXモードを解除して交信してください。

スキャン機能について

受信できる電波を探します。

▲または▼ボタンを2秒以上押し続けると、スキャンが始まります。



- ・電波を受信するとスキャンは停止します。(チャンネル表示は点滅) その電波が途切れると、再びスキャンが始まります。
- ・スキャンを解除するには、PTTボタンを押します。

※もう1度▲または▼ボタンを2秒以上押し続けても、スキャンを解除できます。

※スキャン中に至近距離で交信中の電波を受信した場合には、送信側チャンネルの前後(隣り)のチャンネルでスキャンが停止することがあります。

ロングセーブモードについて

本機は、何も受信していない状態が約2秒間(チームモード、グループモード時は約9秒間)続くと、自動的にバッテリーセーブモードがはたらき、電池の消耗を防ぎます。また、待ち受け中の電池の消耗をさらに抑えるロングセーブモードを設定することができます。(通常の105時間を、145時間に延長)

1. ファンクション状態にする

・Funcが点滅します。



※電源を切っても解除されません。解除するときは、もう1度ファンクション状態でMONIボタンを押してください。

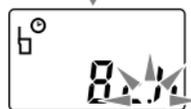
※チームモードやオートコールモード、グループモード、エリアモード中は設定できません。

※チームモードやオートコールモード、グループモード、エリアモードにした場合や、電池交換をした場合には、設定が解除されます。

※受信のとき、相手からの最初の声(約1秒間)が聞こえないことがあります。

2. Funcが点滅している間に、MONIボタンを押す

・“ピッ”と鳴り、チャンネル表示部にLong(ロング)、On(オン)を順次表示した後、チャンネル表示に戻り、ドットが点滅します。

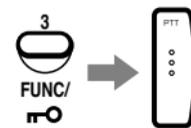


呼出音について

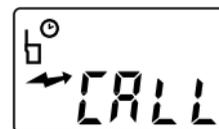
通常の交信でも、呼出音を鳴らして相手に知らせることができます。

1. ファンクション状態にする

・Funcが点滅します。



2. Funcが点滅している間に、PTTボタンを押す



・チャンネル表示部にCALLが約1秒間表示され、呼出音が鳴ります。

・交信は、PTTボタンを放し呼出音が鳴り終わったあとで、もう1度PTTボタンを押して話しはじめてください。

※呼出音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

※チームモード、オートコールモードでは呼出音が鳴りますので、本機能を使う必要はありません。

交信距離について

電波の届く距離は、周囲の状況により大きく異なります。

- ・スキー場などの開けた地形では 約2km~3km
- ・郊外では 約1km~2.5km
- ・高速道路では 約500m~800m
- ・市街地では 約100m~300m

※DXモードOFF時

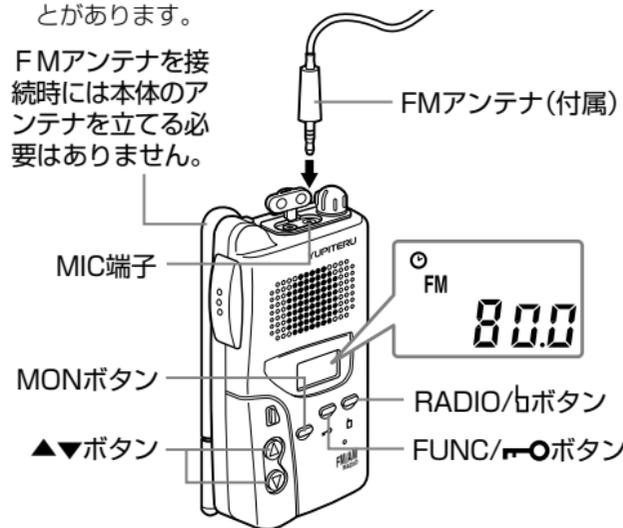
ラジオの聞きかた

本機は、FMラジオ放送とTV 1ch~3chの音声を受信できます。(受信周波数：76~108MHz)

※本機をご購入時、90~108MHz間はテレビ音声の1ch~3chのみを受信するように設定されていますが、テレビ音声以外も連続受信する動作にもどすことができます。(40ページ参照)

※電波が弱い場合には、周波数がズレた状態で受信することがあります。

FMアンテナを接続時には本体のアンテナを立てる必要はありません。



FMラジオの聞きかた

FMラジオやTV音声を聞くには

1 RADIO/⏻ボタンを押して、FM表示を点灯させる



•チャンネル表示部には受信周波数が表示されます。

2 ▲または▼ボタンを押して、FMラジオ局の周波数に合わせる

- 100kHzステップで周波数が変わります。
 - ▲または▼ボタンを1秒以上押し続けると、周波数アップ・ダウンの早送りができます。
- ※受信状態がよくない場合は、付属のFMアンテナをMIC端子(マイク)に接続してください。

よく聞く周波数をメモリーするには

1 ▲または▼ボタンを押してメモリーしたい周波数に合わせる

※メモリーできるFMの周波数は1波だけです。

2 FUNC/⏻ボタンを押してファンクション状態にする

•Funcが点滅します。

3 Func点滅中にMONIボタンを押す

•表示中の周波数がメモリーされます。メモリーした周波数を変更したい場合は、手順1~3を繰り返してください。

メモリーした周波数を呼び出すには

4 MONIボタンを押す



- メモリーした周波数を表示しているときは、FM表示が点滅します。
- ※▲▼ボタンは無効となります。
- ※解除するときは、もう1度MONIボタンを押してください。

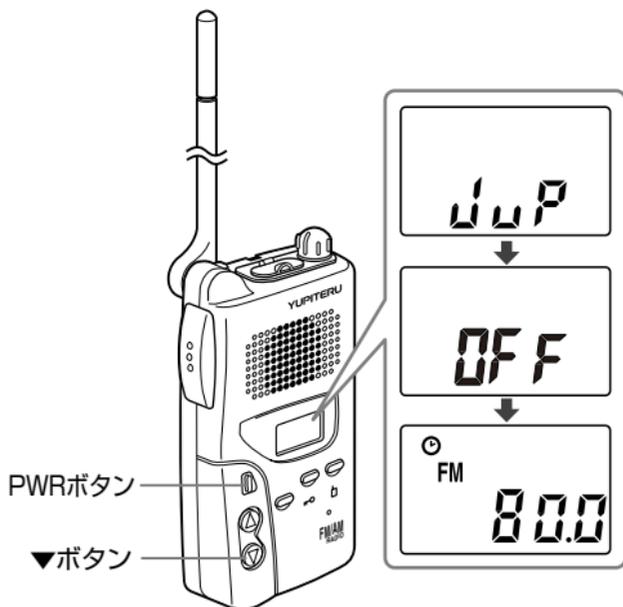
本機はテレビ音声1ch～3ch以外も連続受信することができます。

TV音声以外を連続受信するには

- 1 PWR ボタンを約1秒間押して電源を切る
- 2 ▼ボタンを押しながら、PWR ボタンを約1秒押して電源を入れる

- “ピピッ”と鳴り、チャンネル表示部に **u u P** (ジャンプ)、**OFF** (オフ) を順次表示した後、周波数表示に戻ります。
 - 76～108MHzを連続受信することができます。
- ※再度、テレビ音声チャンネルだけを受信するように設定するには、もう1度手順1、2を繰り返してください。動作は次のようになり、テレビ音声だけをすばやく選局できます。

これまで通り受信できます…76～89.9MHz
 テレビジョン放送1ch音声…97.75MHz
 (ディスプレイ表示は95.7MHz)
 テレビジョン放送2ch音声…101.75MHz
 (ディスプレイ表示は101.7MHz)
 テレビジョン放送3ch音声…107.75MHz
 (ディスプレイ表示は107.7MHz)



本機は、AMラジオ放送が受信できます。
 (受信周波数：522～1710KHz)

※AMラジオ受信用のバーアンテナが本体に内蔵されていますので、アンテナを立てる必要はありません。

AMラジオを聞くには

- 1 RADIO/◻ボタンを押して、AM表示を点灯させる



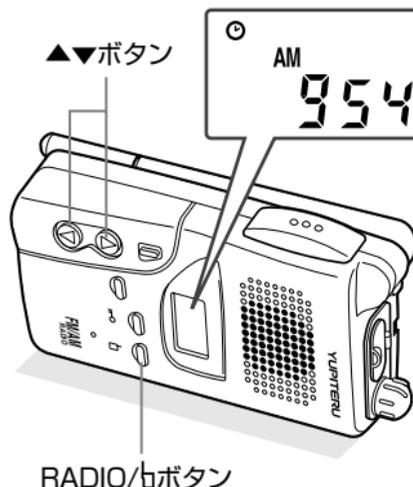
• チャンネル表示部には受信周波数が表示されます。

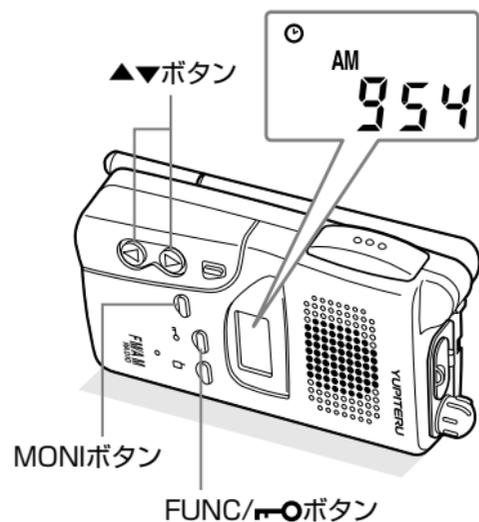
- 2 最良の感度で受信するために、本体を横向きに置く



- 3 ▲または▼ボタンを押して、AMラジオ局の周波数に合わせる

- 9kHzステップで周波数が変わります。
- ▲または▼ボタンを1秒以上押し続けると、周波数アップ・ダウンの早送りができます。





よく聞く周波数をメモリーするには

1 ▲または▼ボタンを押してメモリーしたい周波数に合わせる

※メモリーできるAMの周波数は1波だけです。

2 FUNC/⏻ボタンを押してファンクション状態にする

・Funcが点滅します。

3 Func点滅中にMONIボタンを押す

・表示中の周波数がメモリーされます。メモリーした周波数を変更したい場合は、手順1～3を繰り返してください。

メモリーした周波数を呼び出すには

4 MONIボタンを押す



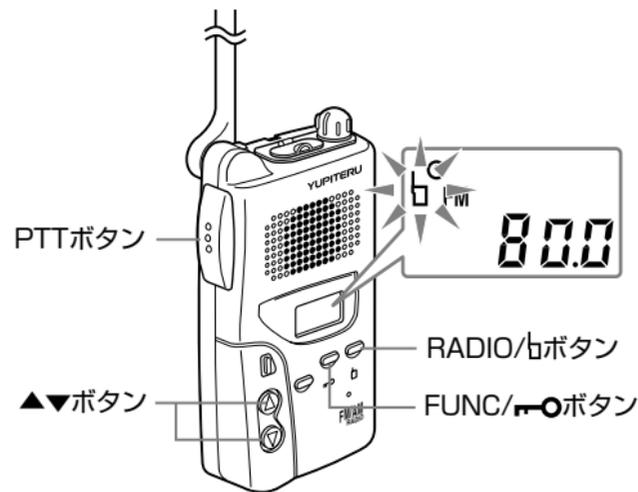
- ・メモリーした周波数を表示しているときは、AM表示が点滅します。
- ※▲▼ボタンは無効となります。
- ※解除するときは、もう1度MONIボタンを押してください。

ラジオを聞きながら、トランシーバー受信を待ち受ける

本機は、FM/AMラジオを受信中にも、トランシーバーとして受信待ち受けし、すぐに交信することができます。

※通常の交信、チームモード、オートコールモード、グループモード、エリアモードなど、すべてのトランシーバーモードで本機能が使えます。

※アンテナは必ず立てた状態にしてください。



交信の準備をするには

1 RADIO/bボタンを押して、b表示を点灯させ、▲または▼ボタンを押して、交信するチャンネル(1~9)に合わせる



2 もう1度RADIO/bボタンを押して、FMまたはAM表示を点灯させ、▲または▼ボタンを押して、聞きたいラジオ局を受信する



3 FUNC/☉ボタンを押してファンクション状態にする

•Funcが点滅します。

4 Func点滅中にRADIO/bボタンを押して、b表示を点滅させる



- ラジオを聞きながら、トランシーバー受信待ち受けします。
- チャンネル表示部には、ラジオの受信周波数が表示されます。

※解除するときは、もう1度手順3、4を繰り返してください。

※AMラジオを聞くときには、本体を横にすると受信感が向上します。

受信するには

5 PTTボタンから指を放して待つ



- 通常はラジオ放送が聞こえますが、呼び出しを受けるとラジオ受信を止め、相手のトランシーバーからの音声を受信します。(チャンネル表示部も受信チャンネル表示に変わります)

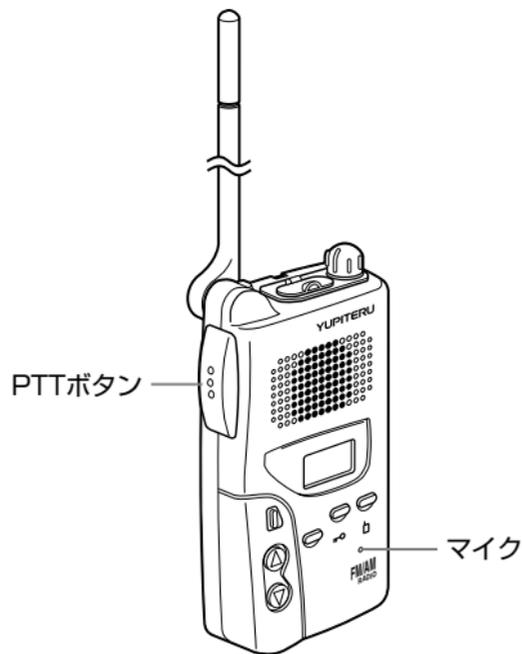
※トランシーバーの受信チャンネルは変更できません。

応答するには

相手が話し終えたら、PTTボタンを押しながら応答することができます。

ラジオを聴きながら、トランシーバー受信を待ち受ける

FM/AMラジオを受信中に、待ち受けだけではなく、相手を呼び出すこともできます。



送信するには

6 PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す



- 通常はラジオ放送が聞こえますが、PTTボタンを押すとラジオ受信を止め、送信を始めます。(チャンネル表示部が送信チャンネル表示に変わります)

※トランシーバーの送信チャンネルは変更できません。

インターホンの使いかた

本機は、家の中で、インターホンとして使用できます。

※事前にトランシーバーモードでグループNo.を変更している場合には、交信するすべてのインターホンのグループNo.を同じ番号に設定しなおしてください。(30ページ参照)

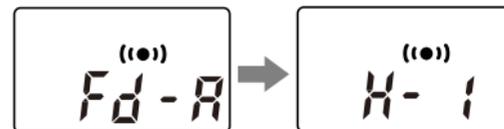
(本機をご購入時には、すべてのグループNo.は同じ番号に設定されています。)



交信する全員が、設定してください。

インターホンモードにするには

- 1 PWRボタンを約1秒間押しして電源を切る
- 2 RADIO/📻ボタンを押しながら、PWRボタンを約1秒間押しして電源を入れる



- チャンネル表示部に *Fd-A* (フィールドA) を約1秒間表示後、*H-1* (Home-1) と (●●) (インターホンマーク) を表示して、インターホンモードになります。

※解除するときは、もう1度手順1、2を繰り返してください。

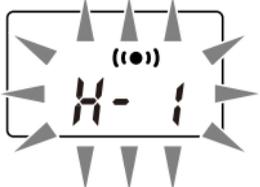
インターホンの使いかた

ラジオを聞きながら、トランシーバー受信を待ち受ける

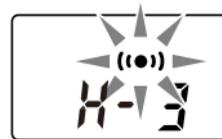
インターホンNo.を設定するには

3 インターホンモードの状態
で、PWRボタンを約1秒間押し
て電源を切る

4 ▼ボタンを押しながら、PWRボ
タンを約1秒間押しして電源を入
れる

- 
- 表示が点滅します。
- ※ 10秒以内に次の操作をしないと、インターホンNo.設定モードは解除されます。

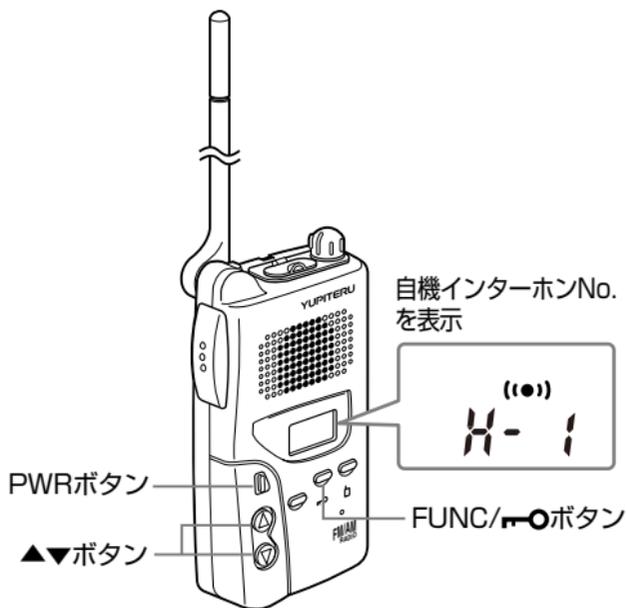
5 表示が点滅中に、▲または▼ボタ
ンを押して、設定したいインター
ホンNo.に合わせる



- 1～4のNo.が選べます。
- トランシーバーごとに、違う番号に設定し
てください。

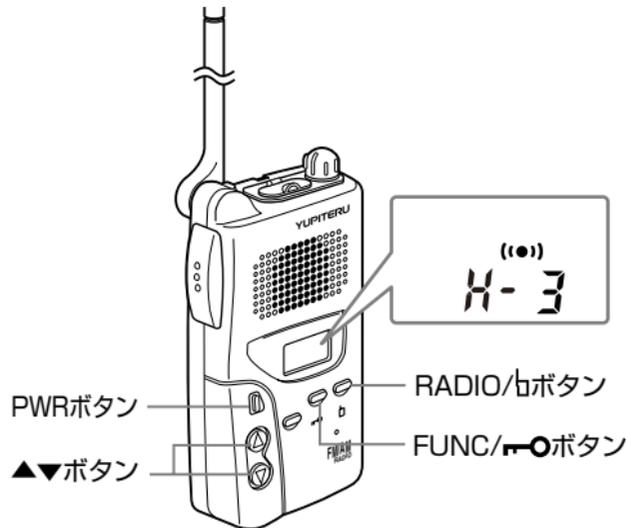
6 FUNC/☎ボタンを押す

- 選択したインターホンNo.が本機に登録さ
れ、表示が点灯に変わります。



インターホンの使いかた…交信する全員が、設定してください。

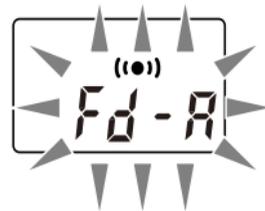
当機と同じ機種別のグループが近くでインターホン機能を使っていたり、その他の混信がある場合には、使用するフィールドを切り換えることにより混信を避けることができます。



フィールドを切り換えるには

7 インターホンモードの状態、PWRボタンを約1秒間押し電源を切る

8 FUNC/RADIOボタンとRADIO/bボタンを押しながら、PWRボタンを約1秒間押し電源を入れる

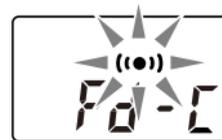


•表示が点滅します。

※10秒以内に次の操作をしないと、フィールドを選択するモードは解除されます。

交信する全員が同じフィールドに設定してください。

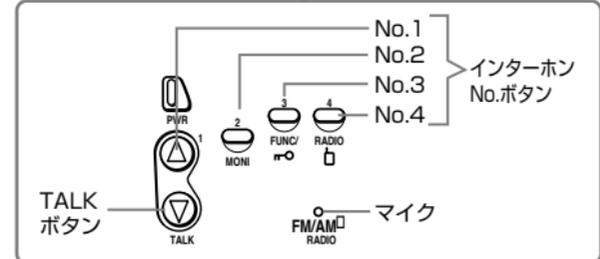
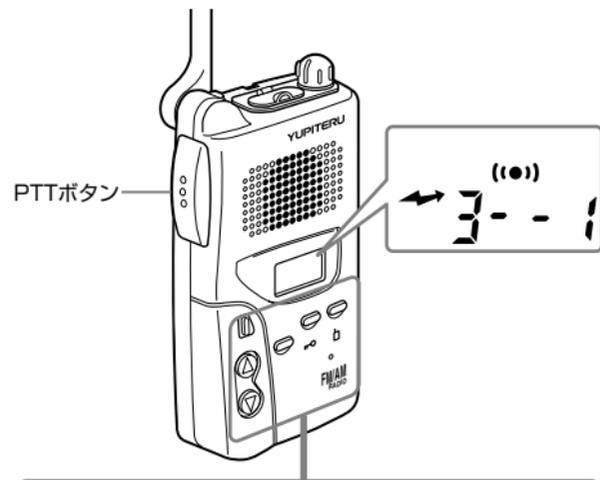
9 表示が点滅中に、▲または▼ボタンを押して、設定したいフィールドに合わせる



•Fd-A(フィールドA),Fd-b(フィールドB),Fd-C(フィールドC),の3通りのフィールドが選べます。

10 FUNC/RADIOボタンを押す

•使用するフィールドが本機に登録され、表示がインターホンNo.に変わります。

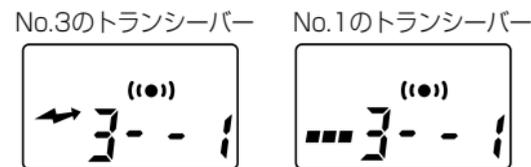


特定の相手呼び出して交信するには

1 呼び出したい相手のインターホンNo.ボタンを押す

• 呼出音が鳴ります。

※インターホンNo.3のトランシーバーからNo.1のトランシーバーを呼び出した場合には、次のように表示されます。



送信側から受信側方向に、--(ドット)が移動します。

2 PTTボタンまたはTALKボタンを押しながら、マイクに向かって話す

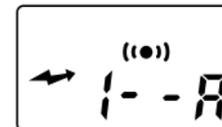
応答するには

相手が話し終わったら、PTTボタンまたはTALKボタンを押しながらマイクに向かって話します。

※交信中にインターホンNo.ボタンを押した場合、または5秒間送受信がない場合は交信が自動的に終了します。

全員を一斉に呼び出して交信するには

3 PTTボタンまたはTALKボタンを押す



- 自分のインターホンNo.とA(オール)が表示されます。
- 呼出音が鳴り、全員を呼び出します。

4 PTTボタンまたはTALKボタンを押しながら、マイクに向かって話す

応答するには

相手が話し終わったら、PTTボタンまたはTALKボタンを押しながらマイクに向かって話します。

※交信中にインターホンNo.ボタンを押した場合、または5秒間送受信がない場合は交信が自動的に終了します。

バッテリー電圧を表示させるには

バッテリーの電圧をディスプレイに表示できます。バッテリー残量の目安にしてください。

PWRボタンを押して放す

- バッテリー電圧を表示して、自動的に元の表示に戻ります。



※1秒以上PWRボタンを押し続けると、電源がOFFになります。

※通常、新しいアルカリ乾電池を使用した場合、4.5を表示します。



※外部電源を使用した場合、UP5.0を表示します。



送信終了音を鳴らすには

トランシーバーモード、インターホンモード時には、相手に送信が終わったことを知らせる“ピー”という送信終了音を鳴らすことができます。(お買い上げの際は、鳴らないように設定されています)

あらかじめトランシーバーモードにしたあと電源を切り、▼ボタンを押しながらPWRボタンを押して電源を入れ直す



- “ピピッ”と鳴り、チャンネル表示部に **Stby** (スタンバイ)、**On** (オン) を続けて表示した後、チャンネル表示に戻り、送信終了音が出るようになります。

※解除して鳴らないようにするには、電源を切り、もう1度▼ボタンを押しながら電源を入れてください。

※送信終了音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

※インターホンモードで送信終了音を鳴らすには、あらかじめトランシーバーモードで設定したあとインターホンモードにしてください。

ディスプレイの照明(自動点灯)を消すには

操作ボタンを押すたびにディスプレイの照明が点灯します。(約3秒間)

■解除するには

電源を切ってから、MONIボタンを押しながらPWRボタンを押して電源を入れ直す



- “ピピッ”と鳴り、チャンネル表示部に **Lcd** (LCD)、**OFF** (オフ) を続けて表示した後、チャンネル表示に戻り、ディスプレイの照明が点灯しなくなります。

※点灯させるときは、電源を切り、もう1度MONIボタンを押しながら電源を入れてください。

APO(オートパワーオフ)機能について

ボタン操作や受信が1時間以上ない場合は、電源が自動的に切れます。電源が切れる約30秒前には、“ピピピ”と3回鳴ります。

■解除するには

電源を切ってから、PTTボタンを押しながらPWRボタンを押して電源を入れ直す



- “ピピッ”と鳴り、チャンネル表示部に **APO** (APO)、**OFF** (オフ) を続けて表示した後、チャンネル表示に戻り、APO表示(☉)が消灯します。

※インターホンモード時にはAPO機能ははたらきません。

※APO機能を設定するときには、電源を切り、もう1度PTTボタンを押しながら電源を入れてください。

キーロック機能について

誤ってボタンを押して、チャンネルなどが切り換わることを防止します。

FUNC/ ボタンを2秒上押し続ける



- “ピッ”と鳴り、キーロック表示()が点灯し、キーロック機能がはたらきます。

※解除するときは、もう1度FUNC/ ボタンを2秒以上押し続けてください。

※インターホンモードでは使用できません。

確認音を消すには

ボタンを押したときになる確認音(ピッやピポ)を、鳴らないように設定できます。

電源を切ってから、FUNC/ ボタンを押しながらPWRボタンを押して電源を入れ直す



- チャンネル表示部に **BEEP** (ビーブ)、**OFF** (オフ) を続けて表示した後、チャンネル表示に戻り、確認音が鳴らなくなります。

※鳴るようにするには、電源を切り、もう1度FUNC/ ボタンを押しながらPWRボタンを押してください。

※チームモード、オートコールモード中の呼出音は、常に鳴ります。

■確認音の種類

ピッ	•各操作ボタンを押したとき
ピピッ	•連続交信時間の残り時間が10秒以下になったとき •各設定を変更したとき
ピポ	•1チャンネルを選んだとき
ピピピ	•同じチャンネルの強い電波を受信中にPTTボタンを押した場合など、送信できないとき
ポポポ	•電池の交換が必要なとき
ポッ	•エリア交信時、交信可能なエリアの外に出たとき

リセット機能について

▲ボタンと▼ボタンを押しながら電源を入れた後、いったん電源を切り再度電源を入れ直してください。ご購入時の設定に戻ります。

■初期設定

機 能	設 定
動作モード	トランシーパーモード(ノーマル交信)
チャンネル(トランシーパーモード)	1 CH
FM周波数	80.0MHz(メモリー周波数:80.0MHz)
AM周波数	954kHz(メモリー周波数:954kHz)
テレビ1~3chのみの受信	ON
トランシーパー待ち受け	OFF
自機インターホンNo.	No. 1
フィールド(インターホンモード)	A
送信終了音	OFF
DXモード	OFF
ビーブ	ON
キーロック	OFF
グループ	OFF(グループNo.01)
チーム	OFF
オートコール	OFF
LCD自動照明	ON
APO	ON
バッテリーロングモード	OFF

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

■修理を依頼される時

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常があるときは

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店にまずご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。なお、故障状況は、なるべく詳しくご連絡ください。

アフターサービスについて

■アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次の確認やリセット操作を行ってください。

症 状	確 認 内 容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していませんか? 電池が正しく入っていますか?
ボタンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> キーロック機能がはたらいていませんか?
相手と交信できない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを立てていますか? 相手と離れすぎていませんか? 相手とチャンネルやグループNo.が違っていませんか? インターホンモード時は、インターホングループNo.やフィールドが違っていませんか?
送信できない	<ul style="list-style-type: none"> 交信終了後、約2秒間経過していますか? 電波を受信していませんか?
受信時に雑音が多く、音が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗していませんか? 受信電波が弱くありませんか? (建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でご使用ください)
確認音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 確認音を消していませんか?
チームモードを使った交信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 全員がチームモードに設定していますか?
オートコールモードで呼出ができない	<ul style="list-style-type: none"> 全員がオートコールモードに設定していますか?
“ザー”という音が消えない	<ul style="list-style-type: none"> MONIボタンが押したままになっていませんか? 他の無線機などの影響を受けていませんか?

- 送信周波数…422.200～422.300MHz
(12.5kHzステップで9チャンネル)
- FMラジオ受信周波数…76.0～108.0MHz
(100kHzステップ)
- AMラジオ受信周波数…522～1,710kHz
(9kHzステップ)
- 電波型式…F3E
- 連続送信時間…3分間以内
- 送信出力…10mW
- 受信感度…-9dB μ V以下(DX) (12dB SINAD)
- 低周波出力…90mW以上(4.5V、8 Ω 、THD5%時)
- 定格電圧…4.5V(単3形乾電池3本)
- 消費電流…
待ち受け(バッテリーセーブ)時
通常:約16.5mA
ロングモード:約12mA
送信時:約50mA
受信時:約82mA
- 動作温度範囲…-10℃～+50℃
- 防滴の種別…JIS C0920防滴II形

- 寸法…57(W)×109(H)×28(D)mm
- 重量(電池・ベルトクリップ含む)…約200g

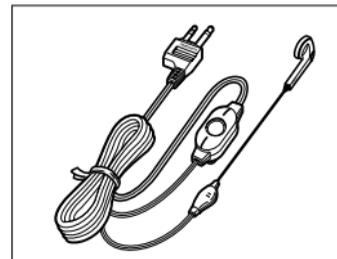
■付属品

- FMアンテナ(1)
- ベルトクリップ(1)
- ベルトクリップ取付ネジ(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- ご愛用者カード(1)
- ご相談窓口一覧(1)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

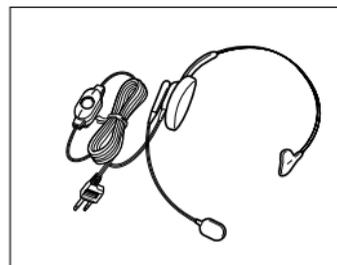
■イヤホンマイク(HD-100)

標準価格3,200円(税別)
PTTスイッチ付きのイヤホンマイクです。



■PTT付きヘッドセット(HD-400)

標準価格4,900円(税別)
PTTスイッチ付きのヘッドセットです。



■VOX/PTT付きヘッドセット(HD-410)

標準価格6,900円(税別)
話すと自動的に送信になるVOX回路付きのハンズフリーヘッドセットです。

■工事/スポーツヘルメット用ヘッドセット(HD-720)

標準価格14,800円(税別)
ダイナミックマイク採用のPTTスイッチ付きヘッドセットです。
※ヘルメットの形状により取り付けられない場合があります。

■スピーカーマイク(PM-400)

標準価格3,900円(税別)
手元で送信と受信の切り換えができます。

■リモコンスピーカーマイク(PM-511)

標準価格5,900円(税別)
送信/受信の他に、周波数の変更やモニター機能、呼出音の送信を手元で行えます。

■単3形ニッカド電池6本セット(BP-36)

標準価格2,300円(税別)

■単3形ニッカド充電器(BP-400)

標準価格4,800円(税別)

単3形ニッカド電池(4/6本)を約5時間で充電できる充電器です。

付属品…単3形ニッカド電池6本、ダミー電池1個

■ACアダプター(A-6001)

標準価格2,000円(税別)

家庭用電源(ACコンセント)で運用できます。

注意

イヤホンやヘッドセットを使うときは、音量に十分ご注意ください。突然の大きな音で耳を痛める恐れがあります。

オプションのご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、ご不明な点は、最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

CT-55RI

ユピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33